

## AQUA EXPLORER : 「AE-1000」、 「AE-2」

従来のロボットより格段に優れた自律走行式水中ロボット「AQUA EXPLORER-1000」(AE-1000)を1991年(平成3)に試作し、2年後の93年に海洋実験に成功した。AE-1000は予防保全用の調査を目的に作られた無索式の実験機で、内蔵電池で作動し、実装した多種のセンサの情報をもとに、自力で1,000mの深度まで潜水することができる。搭載されたテレビカメラによって海底ケーブルの状況調査や海底映像をリアルタイムで伝送するとともに、磁気センサによって障害個所の探索を行う。このような海底ケーブルの調査のほかに、海底鉱物資源の調査、水産資源の調査などへの活用も期待されている。

その後、軽量化とローコスト化を図った「AQUA EXPLORER-2」(AE-2)の開発が進められ、97年5月末、海洋実験に成功した。AE-2はAE-1000と比較して、空中重量が500kgから260kgに軽量化された上、連続走行時間も4時間から24時間へと大幅に拡大した。

出典：KDD 社史